

## 目標達成計画

事業所名 グループホームこもれび

作成日: 平成 25年 3月 21日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所では、現理念の見直しを予定しており、全職員で協議の上、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念作成の実現と共に、常に立ち戻る原点として共有し実践に繋げることを期待したい。	地域密着型サービスにあった、施設理念を掲げる。	早い時期に職員と共に話し合い、施設にあった理念を掲げサービスの向上に繋げる。	H25年3月
2	26	個別の介護計画の理解と共有が、職員全員のものとなるよう取り組みが望まれる。また介護計画に挙げられているサービス内容が、日々の生活の中で実践されているか確認する為にも、計画と介護記録が連動する書式などの検討やその整備を期待したい。	介護計画を職員全体が共有理解して、個人のケアに反映する。	個人の介護計画を、職員ともに見直し、同じ目線で介護できるように、アセスメントやモニタリング・カンファレンス・介護計画を連動性のあるものとする。	H25年4月～H25年10月
3	33	事業所としての看取りに関する対応は利用者、家族の理解を得ているが、重度化に伴い終末期の過ごし方は利用者、家族の大きな不安でもあるので、具体的な対応などを文書化した指針を作成し、それを基に話し合い、関係者間の方針の統一に繋げることを期待したい。	終末期においては、本人と家族が穏やかに過ごすことができる環境を整える。	今ある方針を施設としての指針としてまとめ、本人と家族が理解し、安心できる基とする。また、職員は看取りケアの研修に参加し、自信と安心を身に付けて介護する。	H25年4月～H25年5月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。